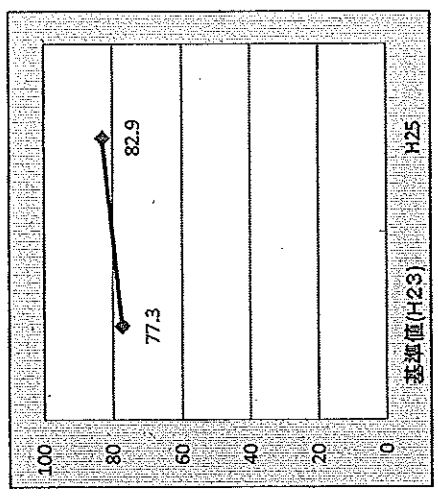


第5章 平成26年度（平成25年度対象） 点検・評価結果

徳島県教育振興計画(第2期) 平成25年度 成果指標進捗状況等(平成26年3月末時点)

基本方針1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

番号	推進項目	事業目的	取組状況(H25年度分)	評価	今後の取組方針																		
1	キャリア教育の推進体制の確立及び充実 キャリア教育推進指針の策定・推進	事業目的 本県学校におけるキャリア教育の課題を解決するために、各学校がキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、学校におけるキャリア教育の推進を図る。	取組状況(H25年度分) (単位：－) <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>策定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>策定</td> <td>推進</td> </tr> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	策定					達成	策定	推進	評価 「徳島県キャリア教育推進協議会」で協議内容に基づき、学校におけるキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定することができた。	今後の取組方針 (課題) 策定された指針を、学校や教職員に周知をしていくとともに、指針に基づいたキャリア教育を実践できるように支援していくことが課題である。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)															
-	策定					達成	策定	推進															
2	キャリア教育の推進	事業目的 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。	取組状況(H25年度分) (単位：%) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>77.3</td> <td>82.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>75</td> <td>80以上</td> </tr> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	77.3	82.9					達成	75	80以上	評価 「高校生インターンシップ推進事業」「県立施設におけるインターンシップ推進事業」、さらには労働雇用課と連携して実施している「産業人材確保インターンシップ推進事業」の実施等により、インターンシップの実施率は向上している。	今後の取組方針 (課題) インターンシップ実施には、「受け入れ先の開拓や連絡」「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題があり、「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の内容のさらなる充実を図るとともに活用について周知する必要がある。「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」利用を促進するためにリーフレットを作成するとともに、インターンシップ等体験的活動の受入先企業の新規開拓や企業が継続して受け入れてくれるように企業への啓発リーフレットを作成する。また、インターンシップの円滑な実施に向け、手引き書を作成する。
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)															
77.3	82.9					達成	75	80以上															



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針																											
3	キャリア教育の推進	キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立中学校における職場体験の実施率 担当課 学校政策課	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。 各市町村教育委員長や中学校校長が集まる会において、職場体験の必要性を伝えるなどして職場体験実施に向けた依頼を行った。また、徳島県中小企業家同友会と職場体験等の推進に係る連携協定を締結するとともに、職場体験受入先企業に関するデータベースである「あわ教育サポーター企業等データベース」を構築した。 (単位：%) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>96.5</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>98</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">達成</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table> (成果) これまでの啓発活動により、職場体験実施率は100%となった。今後はこの実施率を継続させていきたい。 評価 (課題) 職場体験実施には、「受け入れ先の開拓や連絡」「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題があり、「あわ教育サポーター企業等データベース」の内容のさらなる充実を図るとともに活用について周知する必要がある。 今後の取組方針 「あわ教育サポーター企業等データベース」利用を促進するためにリーフレットを作成するとともに、職場体験等体験的活動の受入先企業の新規開拓や企業が継続して受け入れてくれるように企業への啓発リーフレットを作成する。また、職場体験の円滑な実施に向け、手引き書を作成する。	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	96.5	100.0					98		100			達成						
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																						
96.5	100.0					98		100																						
		達成																												
4	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 産学連携事業実施校数(累積) 担当課 学校政策課	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針 専門教育の一層の高度化を図るため、企業や大学、県の試験研究機関等と協働した施策や事業を積極的に挙げる。 阿南工業高校、吉野川高校、三好高校の3校で各企業や団体等から原材料や技術を提供してもらい、阿南工業高校では球体型バーサラライト、吉野川高校はペラを活用した押し花アートによる地域活性化及び商品開発、三好高校はそば裁培の技術指導及び商品開発等積極的な連携を進めることができた。 (単位：校) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>18</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">達成</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table> (成果) 本事業により、専門高校の生徒の創造力や専門的技術・技能を生かした実践的な取組を行うことができ、専門的な技術・技能の深化を図ることができた。 (課題) 本事業の一層の推進に向けて、多くの専門高校が、企業や大学、県の試験研究機関等と連携を深めることができ、るように支援していく必要がある。 今後の取組方針 平成26年度については、阿南工業高校、吉野川高校、三好高校の3校が認定され、事業の取組中である。累積で9校の取組を予定している。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	3	6					6		18			達成						
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																						
3	6					6		18																						
		達成																												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
5	キャリア教育の推進	<p>進学官連携・高大連携の推進 大学から高校へ・出向きを行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施</p> <p>担当課 学校政策課</p> <p>施策・成果指標 外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進</p>	<p>徳島県内の大学と徳島県教育委員会の連携に関する連絡協議会における大学・学校間連携部会の事業として、県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、大学と高等学校の連携を強化することで、キャリア教育の推進を図る。</p> <p>県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、各高等学校に積極的な利用を推奨した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各高等学校で、合計211講義の積極的な活用がなされた。</p> <p>評価 (課題) 高等学校のニーズと大学が提供する講義のマッチングをさらに図っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 毎年度「県内5大学出張講義一覧」を更新して、各高等学校に広報していきたい。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
－	推進						推進	推進																		
6	グローバル化に対応した教育の推進	<p>担当課 学校政策課</p> <p>施策・成果指標 外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進</p>	<p>外国語(英語)教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。</p> <p>「グローバルチャレンジ支援事業」により、小学生には外国語指導助手(ALT)とのデイキャンプ、中学生には海外語学研修の支援、高校生にはニードラーサクセン州との生徒間交流を実施し、日本人としてのアイデンティティを育成するとともに、体系的に英語を学ぶ機会を提供してグローバルマインドを育成した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 児童生徒が体験的に英語を学ぶ機会を提供し、国際理解教育・国際交流の推進を図ることができた。また、新学習指導要領を円滑に実施するため、各学校での英語指導改善を図ることができた。</p> <p>評価 (課題) 今後は、高校生の海外留学促進に加え、県内で高校生が疑似留学体験できる機会を創設する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 高校生が英語で体験的に学ぶ機会を拡充するため、高校生が県内で疑似留学体験できる機会を創設したり、海外留学(短期派遣及び長期派遣)する高校生数の増加を図る。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
－	推進						推進	推進																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
7	多様なニーズに対応した学習機会の提供 多様なグローバル化に対応した教育の推進	帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実 日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進 担当課 学校政策課	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>帰国・外国人児童生徒に対して行う日本語指導は、現行制度の下では教育課程に位置づけられていないため、帰国・外国人児童生徒への支援については、地域や学校、児童生徒の実態等によって、指導内容や指導体制が大きく異なっている。県内の日本語教育に関係機関が、このような児童生徒に対して一定の質が担保された日本語指導を受けることのできる支援体制の構築を図る。</p> <p>「帰国・外国人児童生徒“いきいき”モデル事業」により、日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、日本語教育に関わる市民団体や国際交流協会、大学と連絡協議会を開催し、帰国・外国人児童生徒への効果的な支援の在り方等について協議を行い、支援体制の充実を図った。さらに大学と連携し、大学の留学生を学校へ派遣し国際理解を深める交流授業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 県内すべての関係機関のネットワークが構築された。学校に日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際に必要な支援が実施できるようになった。</p> <p>評価 「課題」日本語指導ができる人材の育成が必要である。外国人児童生徒の転入は、突然来ることが多い。</p> <p>今後の取組方針 日本語指導が必要な児童生徒への支援だけでなく、これからのグローバル社会に向けて、徳島大学や専門教育大学と連携し、留学生を活用した異文化理解教育を進める。今後は新たに「帰国・外国人児童生徒支援事業」を実施し、日本語講師、通訳講師を配置する学校の拡充や日本語講師の指導力向上を図るための研修の実施等により帰国・外国人児童生徒への更なる支援を図る。また、今後も県内の大学や国際交流協会と連携を密にし、支援体制の更なる充実を図る。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)		推進								推進
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
	推進								推進														
8	I C T 活用能力の育成	I C T を活用した教育の推進 I C T を活用した授業実践の研修参加者数(累計) 担当課 総合教育センター	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校においてICTを活用した教育の推進が図られるよう、総合教育センターで実施する研修において、教職員がICTを活用した授業等を実践し、児童生徒が自ら、また協働して学習できる環境等を作るためのスキル及び意識の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 初任者研修、10年経験者研修において、授業でのICTの活用方法等に関する研修を実施した。(各1日) 2 希望研修において、学校でのICT活用を想定した研修講座を実施した。(7講座8回) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>831</td> <td>1,208</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>1,200</td> <td>2,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 文部科学省「教育の情報化に関する手引」に示された、「教員に必要となるICT活用指導力」の内容に沿った研修を実施したことにより、授業におけるICTの活用について、理解とスキルを深めることができた。</p> <p>評価 「課題」文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成25年3月実施)において、本県の教員のICT活用指導力に関して、「ややまやま」と回答した本県の教員の割合は80.1%であり、全国平均(67.5%)を上回っているものの、今後もこの割合の向上が求められる。希望研修、10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 初任者研修、10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を行う。 2 希望研修において、学校のニーズが高い講座を開講するとともに、定員を拡充する。 	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)		831	1,208					達成	1,200	2,800
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
	831	1,208					達成	1,200	2,800														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
9	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 国民体育大会天皇杯順位の向上 担当課 県民スポーツ課	<p>中長期的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システム」の構築と「優秀な指導者の養成」を目指す。</p> <p>平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。平成25年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実施した。</p> <p>さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対処する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基礎強化を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：位)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>47</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 国体をはじめとする全国大会や国際大会において、高校生の上位入賞が定着しつつある競技・種目の増加傾向が見られる。</p> <p>(課題) 組織力や運営能力が未成熟な競技団体を継続的に育成・支援することにより競技力の底上げを図るとともに、さらに指導者の資質向上の啓発を行い競技団体と連携・協働していく必要がある。</p> <p>ジュニアからシニアまでの一貫した指導により、将来オリンピック出場が可能なトップアスリート選手の育成を目指す「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続するとともに、競技スポーツにおける成果指向型の選手強化を図り、更なる競技力向上を進める。</p>	(単位：位)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	45	47										未達成						30位台						30位台
(単位：位)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
45	47																																						
					未達成																																		
					30位台																																		
					30位台																																		
10	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 専門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定人数 担当課 体育学校安全課	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内トップ選手の体力を総合的に診断し、得られたデータを科学的に分析しトレーニングに活用することで競技力の向上を図る。</p> <p>大学や県トレーナー協会、スポーツ栄養士協会と連携を強め、競技者の体力を「総合的」に診断し、競技力向上のサポートを行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>328</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) スポーツ指定校をはじめ、県内高校の運動部に「体力診断」が定着しつつある。</p> <p>(課題) 蓄積したデータを大学等の専門機関と連携して分析し、多くのアスリートが活用できるようにする。</p> <p>今後も継続して測定を行うとともに、今までに得られたデータを分析し県内の競技者にフィードバックすることで科学的トレーニングの一助とする。また、平成26年度からジュニア選手100名、トップアスリート200名の測定を行うこととし、測定対象をジュニア選手まで拡大することで、才能ある競技者の発掘を行う。</p>	(単位：人)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	250	328										達成						300						300
(単位：人)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
250	328																																						
					達成																																		
					300																																		
					300																																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																														
11	スポーツ文化の創造	スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造 徳島県スポーツ推進計画の着実な推進 担当課 県民スポーツ課	<p>少子高齢化の進行や高度情報化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地域間格差の拡大など様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、平成25年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成26年3月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。</p> <p>県下全域で4,000人の県民を対象としたスポーツの実施に関する県民アンケート調査結果をとりまとめ、各市町村に情報伝達するとともに、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行うため、平成25年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進計画の策定</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。</p> <p>(課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。</p> <p>県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録者を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化を目指す。</p> <p>1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>183</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">達成</td> <td>165</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集中時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題) 登録者数を増やしても、学校が希望する芸術家等の活動が固定化される傾向があるため、幅広い登録者の活動につながるよう、多様なジャンルの周知に努める必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>「文化教育人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、芸術家等と学校のニーズを把握しながら、新規開拓に努める。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	推進計画の策定	推進					/	推進	推進	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	160	183					達成	165	180
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
推進計画の策定	推進					/	推進	推進																																									
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
160	183					達成	165	180																																									
12	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数 担当課 教育文化政策課	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録者を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化を目指す。</p> <p>1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>183</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">達成</td> <td>165</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集中時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題) 登録者数を増やしても、学校が希望する芸術家等の活動が固定化される傾向があるため、幅広い登録者の活動につながるよう、多様なジャンルの周知に努める必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>「文化教育人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、芸術家等と学校のニーズを把握しながら、新規開拓に努める。</p>	基準値(H24)	H25	160	183	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	160	183					達成	165	180																			
基準値(H24)	H25																																																
160	183																																																
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
160	183					達成	165	180																																									

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
13	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 文化の森文化施設普及事業の開催回数 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>達成</td> <td>250</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>254</td> <td>265</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(単位：回)</p> 各館で様々な普及行事を実施した。 ・博物館 112回 53回 ・近代美術館 37回 12回 ・鳥居龍蔵記念博物館	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270	254	265										事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 優れた芸術作品に直接触れ合う機会を設けるとともに、県民のニーズに応じた様々な普及行事を実施し、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげる。 (成果) 県民の誰もが参加でき、楽しみながら学び、考え、知的欲求を満たすことのできる場を提供した。 (課題) 県民のニーズに応じた、豊富な普及行事を実施する必要がある。 平成26年度には、四県連携事業の「四国へんろ展」を開催する。また、平成27年度の「文化の森25周年」を見据え、引き続き、県民に足を運んでいただけよう魅力的な普及事業の開催に努める。
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270															
254	265																								
14	伝統文化の継承と文化芸術の創造	担当課 文化の森振興本部 施策・成果指標 伝統文化と文化財の保存・継承 伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校教育課程の実施	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 あわ文化教育を教育課程に位置づけて、効果的にかつ継続的に、ふるさと徳島の伝統文化や文化財について学び、誇りを持って県内外へ発信していくことができる生徒の育成を目指す。 県立3中学校(城ノ内中学校・富岡真中学校・川島中学校)の1年生を対象にモデル事業を実施した。それぞれの中学校の教育課程に基づき、文化授業・体験授業・現地授業を行った。 <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>達成</td> <td>モデル校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> (成果) 県立3中学校をモデル校として、あわ文化学習を実施し、教材、授業形態、方法等について検証した。 (課題) 中学校の教育課程が過密であり、各学校ともあわ文化学習を取り入れられるための工夫が必要である。 平成25年度のモデル校での検証をもとに、平成26年度は公立中学校へモデル校を広げ、全公立中学校での実施に向け、教材の整備等体系的なあわ文化教育のしくみ作りを進める。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	モデル校での実施	全公立中学校での実施	—										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	モデル校での実施	全公立中学校での実施															
—																									

基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針						
15	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 ふだん一日10分以上読書をする児童生徒の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>86.5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>79.9</td> </tr> </table> <p>小5 担当課 学校政策課</p>	年度	割合 (%)	H25	86.5	H29	79.9	<p>全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書活動等を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書で本を読む習慣を定着させる。</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書活動等を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書で本を読む習慣を定着させる。</p>
年度	割合 (%)									
H25	86.5									
H29	79.9									
16	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>82.9</td> </tr> </table> <p>小6 担当課 学校政策課</p>	年度	割合 (%)	H25	87.5	H29	82.9	<p>学力向上推進委員研修会や校長会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実について周知した。「全国学力・学習状況調査」の実施（4月24日） 「全国学力・学習状況調査」の結果公表（8月28日）</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の書く力を伸ばすための充実を促進する。</p> <p>学力向上推進委員研修会や校長会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実について周知した。「全国学力・学習状況調査」の実施（4月24日） 「全国学力・学習状況調査」の結果公表（8月28日）</p>
年度	割合 (%)									
H25	87.5									
H29	82.9									

(単位：%)

基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)
小5	70.1	86.5				達成	76.0	80以上
中2	58.1	79.9				達成	66.0	70以上

(単位：%)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)
小6	87.5	89.0				達成	88.5	92.5
中3	82.9	88.4				達成	84.5	88.5

(成果) 多くの学校において、お薦めブックリストの作成や朝の一斉読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。

(課題) 小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低いため、読書の生活化に向けた取組を深め、さらに啓発活動を行っていく必要がある。

子どもたちの身近に読みたい本がある環境づくりを推進するため、各学校の図書館がより一層活用されるように図書館活用の機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクトⅢ」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。

(成果) 各種研修会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、調査結果における実施率が高まり、小・中学校とも目標値を超えた。

(課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行う必要がある。

小・中ともに実施率が上がり目標値を超えるとともに全国平均を上回ったが、引き続き指導の具体的方策に関する情報提供を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。

番号	目標	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
17	確かな学力の育成	幼稚園・小学校・中学校の連携 幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進	<p>事業目的 幼・小・中学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成24年度から引き続き、研究指定地域である藍住町で実施した。</p> <p>今後の取組方針 幼・小・中11年間を通じた「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、平成26年度から2年間北島町・粟みよし町を指定区域として実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
-	推進						推進	推進													
18	確かな学力の育成	担当課 学校政策課 施策・成果指標 コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進	<p>事業目的 授業や行事等において、外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 (成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人々の思いや考えを知ることができた。</p> <p>今後の取組方針 児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等との更なる交流を深めることができるようにするために総合的な学習の時間や行事等において積極的に地域の人材を活用しよう各学校の担当者に対して総合的な学習の時間等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導していく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
-	推進						推進	推進													

番号	推進項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
19	豊かな心の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	<p>徳島県道徳教育推進協議会を核とした道徳教育実践研究（指定校）事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通して、道徳教育を推進する。</p> <p>1 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表等への指導助言を行った。 2 徳島県道徳教育推進協議会との連携を通して研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表等への指導助言（研究発表表4枚、市道徳部会3回、県道徳部会2回）や道徳教育実践研究（指定校）事業（6校）の研究成果の普及を通して、指導の改善に資することができた。</p> <p>(課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、連携を深めることが重要である。</p> <p>県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を一層深め、学校の教育目標、学校の教育や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえた取組の推進を図る。</p>	(単位：－)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																											
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
－	推進						推進	推進																			
20	豊かな心の育成	担当課 学校政策課 施策・成果指標	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校におけるボランティア活動の充実、地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。</p> <p>東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材を提供し、ボランティア活動による社会貢献への意識の高揚を図るとともに、各学校において、福祉施設の訪問、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各学校において、東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保及び活動の推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。</p> <p>学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。</p>	(単位：－)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																											
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
－	推進						推進	推進																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																						
21	豊かな心の育成	環境教育の推進 新学校版環境ISO認証取得校数(累計)(従前の学校版環境ISO認証取得校数含む) <table border="1"> <tr><td>250</td></tr> <tr><td>245</td></tr> <tr><td>240</td></tr> <tr><td>235</td></tr> <tr><td>230</td></tr> <tr><td>225</td></tr> <tr><td>220</td></tr> <tr><td>215</td></tr> <tr><td>210</td></tr> <tr><td>205</td></tr> </table> 基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H25) 目標値(H25) 目標値(H29) <table border="1"> <tr><td>220</td><td>245</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>240</td><td>265</td></tr> </table> (単位:校)	250	245	240	235	230	225	220	215	210	205	220	245						達成	240	265	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に誇りを持って、環境美化活動や自然観察等の体験活動を積極的にを行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。 さらに、この取組の成果を生かし、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切に、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。 「新学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成25年度は65校が新規に認証取得を行った。平成24年度の認定校及び従前の「学校版環境ISO」認定校と合わせて245校が認証取得している。 (単位:校) <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>220</td><td>245</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>240</td><td>265</td></tr> </table> (成果)平成24年度から移行した「新学校版環境ISO」認定校が190校となり、「新学校版環境ISO」が浸透しつつある。児童・生徒、教職員が一体となった環境保全活動が家庭や地域にも広がっている。 (課題)従前の「学校版環境ISO」認定校の「新学校版環境ISO」への速やかな移行と「新学校版環境ISO」新規校の増加が課題である。 環境・エネルギー教育推進事業連絡協議会やエコリーダー養成講座、環境・エネルギー教育発表会における講演や実践発表をより一層充実することにより、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図る。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	220	245					達成	240	265
250																																									
245																																									
240																																									
235																																									
230																																									
225																																									
220																																									
215																																									
210																																									
205																																									
220	245						達成	240	265																																
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																	
220	245					達成	240	265																																	
22	健やかに生きる力の育成	担当課 学校政策課 担当課 体育学校安全課 学校体育の充実と運動習慣の確立 全国体力運動能力調査結果における全国順位	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 改善傾向にあるものの、体力・運動能力の低下、運動をしない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体の状況から、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・地域・家庭が連携した取組を推進し、その実現を図る。 1 小学3・4年生を中心に新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。 2 小学校の体育授業に県内プロスポーツ団体や大学教員等による指導者の派遣を行った。 3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1,000歩を目指す取組を実施した。 4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランキングシステムの利用を促進した。 (単位:順位) <table border="1"> <tr><td>基準値(H22)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>全国平均以下</td><td>35</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>35位以上</td><td>全国平均以上</td></tr> </table> (成果)平成25年度の全国体力運動能力調査の結果(小学校5年生・中学校2年生)を平成21年度(皆悉調査)と比較すると、34種目中、全国平均を上回る種目数が3から9に増加、26種目で記録が向上した。 (課題)実技調査「上体こし」の測定による筋持久力や、「20mシャトルラン」、「持久走」による全身持久力に課題が見られる。 小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、望ましい生活習慣の形成に向けた取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めていく。	基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	全国平均以下	35					達成	35位以上	全国平均以上																				
基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																	
全国平均以下	35					達成	35位以上	全国平均以上																																	

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
23	健やかに生きる力の育成	<p>学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施率(公立小中学校)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>65</td><td>87</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>70</td><td>90</td></tr> </table> <p>(単位：%)</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	65	87					達成	70	90	<p>「徳島県食育推進計画」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>1 全公立小学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員が協力して「食に関する指導」の授業を実施した。</p> <p>2 公立小中学校で、学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」を実施した。</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県食育推進計画」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
65	87					達成	70	90														
24	健やかに生きる力の育成	<p>学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率</p> <table border="1"> <tr><td>国の基準(目標値)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>30</td><td>41</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>31</td><td>35</td></tr> </table> <p>(単位：%)</p>	国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	30	41					達成	31	35	<p>1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。</p> <p>2 年2回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月)</p> <p>3 「旬の食材活用月間」「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p>
国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
30	41					達成	31	35														
		<p>担当課 体育学校安全課</p>		<p>(成果) 全公立小学校で授業実践を行うことにより、児童が自身の食に関する課題解決にじっくり取り組み、望ましい食習慣について考えることができた。</p> <p>(課題) 栄養教諭・学校栄養職員が、置籍校や置籍調理場から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難であった。</p>																		
		<p>担当課 体育学校安全課</p>		<p>(成果) 地場産物活用の呼びかけにより、目標値を達成することができた。</p> <p>(課題) 他部署との連携事業で、魚や肉についても地場産物の活用が試みられたが、果産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、果産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>関係部署や生産者団体と連携をとりながら、地域の産業や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進める。</p>																		

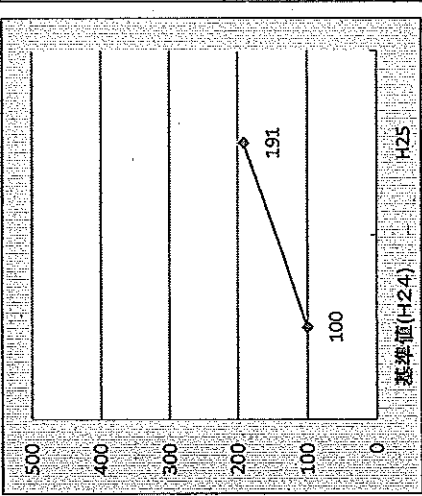
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																								
27	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>事業所数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>300</td></tr> <tr><td>H25</td><td>352</td></tr> </table>	年度	事業所数	H24	300	H25	352	<p>特別支援学校では、事業所等で適正に応じた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただけ的事业所を開拓していく。</p> <p>1 特別支援学校進路指導主事11名が職場開拓を行った回数→1626回 2 新規に進路開拓した事業所数→63事業所 3 平成25年度に進路開拓した事業所のうち、就業体験を受け入れ可能と答えた事業所数→52事業所</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位：事業所)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>300</td><td>352</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">達成</th></tr> <tr><td></td><td>350</td><td></td><td></td><td>450</td></tr> </table> <p>(成果) 進路指導主事等が中心になり、新たに52事業所を開拓することができた。</p> <p>(課題) 特別支援学校では、生徒が事業所での就業体験を繰り返し行うことで卒業後の就労に結びつけている。そのため、進路指導主事を中心として生徒に応じた就業体験先の確保が課題となっている。</p> <p>徳島労働局・ハローワークや障害者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関との連携を密にし、就業体験協力事業所を積極的に開拓する。</p>	(単位：事業所)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	300	352				達成						350			450	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス(自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ)、接客(喫茶サービス)、介護(シーツ回収)、ICT(ワープロ入力)の4分野を実施し、延べ226名の生徒が受検して級認定を受けた。平成24年度から25年度にかけては、検定分野や種目の拡大、参加校の広がりにより、大幅に受検者数が増加した。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位：人)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>65</td><td>226</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">達成</th></tr> <tr><td></td><td>100</td><td></td><td></td><td>140</td></tr> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し226名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家等との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	65	226				達成						100			140
年度	事業所数																																																											
H24	300																																																											
H25	352																																																											
(単位：事業所)																																																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28																																																								
300	352																																																											
達成																																																												
	350			450																																																								
(単位：人)																																																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28																																																								
65	226																																																											
達成																																																												
	100			140																																																								
28	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受検者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>受検者数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>65</td></tr> <tr><td>H25</td><td>226</td></tr> </table>	年度	受検者数	H24	65	H25	226	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス(自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ)、接客(喫茶サービス)、介護(シーツ回収)、ICT(ワープロ入力)の4分野を実施し、延べ226名の生徒が受検して級認定を受けた。平成24年度から25年度にかけては、検定分野や種目の拡大、参加校の広がりにより、大幅に受検者数が増加した。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位：人)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>65</td><td>226</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">達成</th></tr> <tr><td></td><td>100</td><td></td><td></td><td>140</td></tr> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し226名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家等との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	65	226				達成						100			140																										
年度	受検者数																																																											
H24	65																																																											
H25	226																																																											
(単位：人)																																																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28																																																								
65	226																																																											
達成																																																												
	100			140																																																								

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																																								
29	個性がひらく特別支援教育の推進	発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数 	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>みなと高等学校を中心とし、発達障がい者総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムを利用し、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学校教員の生の就労支援を実施する。</p> <p>テレビ会議システムを活用し、県西部の高等学校2校が3回、県中央部の高等学校1校が相談を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、就業体験など具体的な方策を提示・実施することにより、高等学校だけでできなかった就労支援策を実施することができた。</p> <p>(課題) 発達障がいに関するICTネットワークを活用した相談は、従来のテレビ会議システムにはない新しい取組のため、各高等学校が相談しやすい巡回教育相談員を活用した相談事例が多かった。</p> <p>発達障がいのある生徒の就労支援に関するICTネットワークを活用した相談について、高等学校へのさらなる周知を図るとともに、特別支援教育巡回相談員からの情報提供や、関係機関からの情報提供をさらに進めていく。</p> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。</p> <p>第1回研究会参加校数(8月30日実施)：県外31校、県内23校 合計54校 第2回研究会参加校数(2月21日実施)：県外18校、県内17校 合計35校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>89</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県内外を中心に、目標値を上回る89校の参加があった。</p> <p>(課題) 徳島県から発信した研究成果を他校で再現するため、ワークショップ形式の研究会を開催することが課題として考えられる。</p> <p>今後も、発達障がい教育研究会を通して、県内及び県外へ情報発信を行っていく。</p>	(単位：校)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	5	3										30.0%						10						15	(単位：校)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	30	89										達成						45						100
(単位：校)																																																																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
5	3																																																																										
					30.0%																																																																						
					10																																																																						
					15																																																																						
(単位：校)																																																																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
30	89																																																																										
					達成																																																																						
					45																																																																						
					100																																																																						
30	個性がひらく特別支援教育の推進	担当課 特別支援教育課 施策・成果指標 発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数 	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。</p> <p>第1回研究会参加校数(8月30日実施)：県外31校、県内23校 合計54校 第2回研究会参加校数(2月21日実施)：県外18校、県内17校 合計35校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>89</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県内外を中心に、目標値を上回る89校の参加があった。</p> <p>(課題) 徳島県から発信した研究成果を他校で再現するため、ワークショップ形式の研究会を開催することが課題として考えられる。</p> <p>今後も、発達障がい教育研究会を通して、県内及び県外へ情報発信を行っていく。</p>	(単位：校)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	30	89										達成						45						100																																				
(単位：校)																																																																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
30	89																																																																										
					達成																																																																						
					45																																																																						
					100																																																																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
31	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 徳島県人権教育推進方針の改定・推進</p> <p>担当課 人権教育課</p>	<p>人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育をさらに推進し、充実を図っていく。</p> <p>国の「人権教育・啓発に関する基本計画」の一部変更、文部科学省からの「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」の発効、「徳島県教育振興計画（第2期）」の策定や、「原発事故による風評被害」「拉致問題」等、新たな人権問題の視点や社会の動向を踏まえた人権教育を推進することを目標として、必要な内容を追記した。またそれに伴い、今後学校教育及び社会教育においてその内容を周知するために、「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」と題したリーフレットを作成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改定準備</td> <td>改定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 新たな人権問題の視点や国の動向を踏まえた内容を現行の推進方針に追記することにより、人権教育の充実を図ることができた。</p> <p>(課題) 今後、追記した内容の周知とともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育をさらに推進する必要がある。</p> <p>追記した「徳島県人権教育推進方針」に基づき、教育活動全体を通じた人権教育に取り組み、その具体実践化を行うために、人権教育の充実を図っていく。</p>	(単位：一)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	改定準備	改定										達成						改定						推進
(単位：一)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
改定準備	改定																																						
					達成																																		
					改定																																		
					推進																																		
32	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育研究校の指定校数</p> <p>担当課 人権教育課</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：校)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	8	8										達成						8						8	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。</p> <p>1 研究指定校の指定 ○県指定 (高川原幼稚園、重清東幼稚園、国府支援学校、貞光工業高等学校) ○文部科学省指定 (高川原小学校、重清東小学校、岩倉中学校、鳴門中学校) 10月23日 (重清東幼稚園、重清東小学校、貞光工業高等学校) 11月1日 (鳴門中学校)</p> <p>2 研究発表会の開催</p> <p>3 ホームページ等での情報発信</p> <p>(成果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実を図るとともに、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を県内外に広げることができた。</p> <p>(課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、さらに工夫改善を行っていく必要がある。</p> <p>研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。</p>
(単位：校)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
8	8																																						
					達成																																		
					8																																		
					8																																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
33	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値(H24)</td><td>4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5</td></tr> </table>	項目	値	基準値(H24)	4	H25	5	<p>事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>1 初任者研修（人権教育）（5月7日） 2 学校リーダー研修（人権教育） 3 “あわ”じんけん講座 ①実践力向上講座（8年目の教員） ②指導力充実講座（10年経験者） 4 人権教育主事研修会 年間3回 5 教職5年次研修（人権教育） 小（12月3日）、中・特（11月25日）、高・養（11月27日）</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位：回)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">達成</th></tr> <tr><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th><th colspan="2"></th></tr> <tr><td></td><td>4</td><td>4</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <p>(成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することができた。参加者が校内の研修の指導者としての役割を担っている学校もあった。</p> <p>(課題) 人権教育の他にも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を確保していく必要がある。</p> <p>全国的に教員の世代交代が進みつつあるなか、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を教員、その内容を確認する機会を増やすことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につなげていけるように、各講義の十分な検証等を行い、改善・充実を図る。</p>	(単位：回)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	4	5				達成					達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)				4	4		
項目	値																																							
基準値(H24)	4																																							
H25	5																																							
(単位：回)																																								
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28																																				
4	5																																							
達成																																								
達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
	4	4																																						
34	行動につながる人権教育の推進	<p>担当課 人権教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員の派遣要請の回数</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値(H23)</td><td>287</td></tr> <tr><td>H25</td><td>224</td></tr> </table>	項目	値	基準値(H23)	287	H25	224	<p>事業目的 人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することを目的とする。</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>41名の徳島県人権教育指導員を委嘱し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において、個人人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行った。様々な人権課題や今日的な課題に対応できるようにするために、指導員の選考を行い、推進方針に掲げるすべての個人人権課題に加えて普遍的な観点からも指導できる体制を整えた。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位：回)</th></tr> <tr><th>基準値(H23)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>287</td><td>224</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">達成</th></tr> <tr><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th><th colspan="2"></th></tr> <tr><td></td><td>290</td><td>290</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <p>(成果) 豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>(課題) 各学校等から依頼のある個人人権課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個人人権課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。</p> <p>今後、「防災と人権」や「外国人（グローバル化社会における人権問題）」等の今日的な課題に対応できる指導員の選考に努め、幅広い研修の要望に応えられる体制を整える必要がある。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p>	(単位：回)					基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	287	224				達成					達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)				290	290		
項目	値																																							
基準値(H23)	287																																							
H25	224																																							
(単位：回)																																								
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28																																				
287	224																																							
達成																																								
達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
	290	290																																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
35	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じて人権教育の充実 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値 (H21~24平均)</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5,857</td> </tr> </table>	基準値 (H21~24平均)	3,000	H25	5,857	<p>“ありがとう”の気持ちを短紙(メッセージ)で表現した作品の募集を通して、感謝の気持ちから生じる人と人とのつながりの大切さや人権尊重の重要性について考える機会を県民にもついでに“ありがとう”の気持ちを尊重する。また、その作品を人権教育・啓発資料に活用することにより、県民一人一人に“ありがとう”の気持ちを尊重することなど、どのようなことなのかを感じ取っていただき、人権が尊重される社会づくりに向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。</p> <p>1 作品募集 県内の幼稚園児から大人の方まで5,857点の作品応募があった。</p> <p>2 優秀作品の表彰式 ヒューマンフェスタ2013 (12月15日)において、優秀作品 (53作品) を表彰と作品の展示を行った。</p> <p>3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用パネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できるようにした。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">(単位:作品)</td> </tr> <tr> <td>基準値 (H21~24平均)</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5,857</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td>195.2%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H25)</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>3,500</td> </tr> </table> <p>(成果) 平成24年度を上回る5,857点もの作品応募があった。作品募集とともに表彰式や優秀作品のパネル展示などにより、多くの県民が人権について考える機会とすることができた。</p> <p>(課題) 人権尊重の思いをテーマにした作品であるため、作品審査、表彰式への出席者、作品の活用等、様々な面で配慮を要し、個別の対応を丁寧に行う必要がある。</p> <p>様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出を行うとともに、作品集を学校や図書館、公民館等の社会教育施設へ配付し、人権尊重の思いを表現した作品づくりに活用できるように努める。</p>	(単位:作品)		基準値 (H21~24平均)	3,000	H25	5,857	H26		H27		H28		H29		達成率(H25)	195.2%	目標値(H25)	3,000	目標値(H29)	3,500
基準値 (H21~24平均)	3,000																										
H25	5,857																										
(単位:作品)																											
基準値 (H21~24平均)	3,000																										
H25	5,857																										
H26																											
H27																											
H28																											
H29																											
達成率(H25)	195.2%																										
目標値(H25)	3,000																										
目標値(H29)	3,500																										
36	行動につながる人権教育の推進	<p>自主的な活動の推進 中・高生による人権交流会参加人数</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>412</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>371</td> </tr> </table>	基準値(H24)	412	H25	371	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通じて、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>取組状況 (H25年度分) 中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流会」には371名の参加者があり、人権コンサートの後の分科会では、「同和問題と私」「郷土と人権」「身近な人権問題について考えよう」等のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告と、交流会全体についての意見交換が行われた。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">(単位:人)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>412</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td>89.8%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H25)</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>450</td> </tr> </table> <p>(成果) 各ブロックの生徒部会や実行委員会では現地研修や講演会等を通して、積極的な交流や意見交換が行われた。交流会にも371名の参加があり、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが認められた。</p> <p>(課題) 多くの生徒が参加できるように、内容や日程・会場の工夫が必要である。</p> <p>交流会の進め方や生徒ができるだけ参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるよう努める。中・高生等が一堂に会して語り合うことを通じて、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるよう取り組みを進めていく。</p>	(単位:人)		基準値(H24)	412	H25	371	H26		H27		H28		H29		達成率(H25)	89.8%	目標値(H25)	420	目標値(H29)	450
基準値(H24)	412																										
H25	371																										
(単位:人)																											
基準値(H24)	412																										
H25	371																										
H26																											
H27																											
H28																											
H29																											
達成率(H25)	89.8%																										
目標値(H25)	420																										
目標値(H29)	450																										

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																	
37	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	芸術文化活動の活性化 学校での芸術家等活動回数(累計)  <table border="1" data-bbox="244 1480 667 1973"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>191</td> </tr> </table>	基準値(H24)	100	H25	191	<p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組める環境を整える。その結果として、児童・生徒の感動する心、自己表現する楽しさ等、心の潤いと元気の源を提供し、豊かな感性と情操を養う。</p> <p>1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 巡回事業 31校 派遣事業 29校 2 あわ文化体験共感発信事業 派遣回数 26回 (15校) 3 徳島県児童演劇地方巡回公演 派遣回数 5回</p> <table border="1" data-bbox="244 297 454 1323"> <tr> <td colspan="2">(単位：回)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>191</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>170</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">達成</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(成果)文化庁事業・県費事業ともに、県作成の「文化教育人材バンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施し、目標値を上回る成果を残した。</p> <p>(課題)申請校また実施する芸術家等の活動が、例年固定化される傾向があるので、多様なニーズを開拓する必要がある。</p> <p>今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広報等により、新規実施校の開拓を含め、更なる学校での芸術文化活動の取組を図る。</p>	(単位：回)		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	100	191						170	300			達成						
基準値(H24)	100																																			
H25	191																																			
(単位：回)																																				
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																												
100	191						170	300																												
		達成																																		
		事業目的																																		
		取組状況 (H25年度分)																																		
		評価																																		
		今後の取組方針																																		

担当課 教育文化政策課